

令和6年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年9月25日(木) 午前10時～12時

2 場 所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

<運営協議会員> 福西 正美 氏(伊東市立さくら園園長) 【コーディネーター】
初鹿野 勲 氏(民生委員第4地区会長) 【欠席】
梅原 基示 氏(湯の花共栄会役員)
稲葉 政秋 氏(伊東分校ゲストティーチャー)
鈴木 絢子 氏(伊東市立伊東小学校PTA)
川口 良 氏(東部特別支援学校伊東分校PTA会長)

<学 校> 長崎 良夫(校長) 【欠席】
板垣 久 (教頭)
田中 智子(小学部主事)
千葉 俊和(中学部主事)
内田香津子(防災・危機管理課長)
湯川 有貴(保健安全課長)

4 日 程 (1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介
(2) 令和6年度伊東分校の危機管理対応について説明
ア 避難訓練(土砂災害)の参観
イ 防災・危機管理課の活動について(防災・危機管理課長)
ウ 質疑応答
エ 学校安全に関する取り組み(保健安全課長)
オ 質疑応答
(3) 閉会

5 議事内容

(1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介

- ・はじめに本校校長代理で、伊東分校教頭より稲葉政秋様に委嘱状を手渡した。
その後自己紹介を行った。

(2) 令和6年度伊東分校の危機管理対応について説明（教頭）

今回は伊東分校の危機管理対応について、ご意見をいただきたいと考えております。西小学校内の並置校から、旧旭小学校内の単独校に代わり、地震、台風などの自然災害に対する備え、火災や防犯対策についても、1から見直しを図りました。

今日は実際に土砂災害の避難訓練を見学していただき、その後、本校防災危機管理課長、保健安全課長より、伊東分校の危機管理対応について説明させていただきます。それでは移動をお願いします。

ア 避難訓練（土砂災害）参観（10:30～10:45）

イ 防災・危機管理課の活動について（防災・危機管理課長）

- ・毎年、危機管理マニュアルを作成している。今年は伊東市のマニュアルが改訂されており、対応箇所の変更を行った。
- ・地震や火災などの避難訓練は年間6回計画している。いろいろな災害を想定して計画を立てている。また引き渡し訓練や災害時伝言ダイヤル訓練など、保護者が参加する訓練も計画している。
- ・今回、土砂災害を想定した避難訓練を実施した。今後に生かしていきたいと考えているので、たくさんの方からご意見をいただきたい。

ウ 質疑応答（避難訓練参観の感想など）

- ・（梅原氏）児童生徒は、みんなヘルメットをかぶり、スムーズに避難できていたので良かった。災害時には、窓ガラスの破損なども考えられるので、避難経路の確認が大切になると思う。危機管理マニュアルも十分考えられていてよい。
- ・（稲葉氏）土砂災害が想定だと、木が倒れてくることや、窓ガラスが割れて避難が難しいケースが想定される。まずは安全な避難経路の確保が望ましい。避難経路を確保するために、倒れた木をチェーンソーで裁断しなければならないことも想定される。そのような機材は常備されているのか？（チェーンソーなど機材はあると教頭が回答した。）
また迅速に避難できるように、方角を共通理解したほうが良いとご助言を受けた。（校舎内に、教務課長が東西南北の表示を掲示して対応した。）
- ・（鈴木氏）避難訓練は迅速にできていた。地震等で土砂崩れが多数生じた場合、「陸の孤島」となりかねない環境である。長期間、避難生活が続くことも想定しておいたほうが良い。
- ・（川口氏）避難訓練が年回6回あるということは、民間と比べても多いと感じた。繰り返し訓練を行うことによって、児童生徒、教員が発災時に安心・安全に避難できるとよい。
- ・（福西氏）子ども達は、静かに、走り出す子もいなく、みんなちゃんとヘルメットをかぶって避難していて驚いた。保育園でも練習したい。携帯電話は誰が持っているのか？（教頭が持って避難すると答えた。）

エ 学校安全に関する取り組み（保健安全課長）

- ・校内安全点検、危険予測シミュレーション、ヒヤリハットなどに取り組み、児童生徒の事故防止に努めている。
- ・緊急時対応訓練では、心肺蘇生法やAEDの扱いなど、教員の訓練を行っている。
- ・校舎が広いため、児童生徒に関わりがない場所への立ち入りを制限している。
- ・学校安全の取り組みについて、幅広くご意見をいただければと思っている。

オ 質疑応答

- ・（川口氏）ヒヤリハットの収集はどのように行っているのか。
 - 「文書フォルダ内に「ヒヤリハット」フォルダがあり、そこに直接記入し、保健主事へ報告することになっている」と保健主事が回答した。
 - 企業では、ブラウザにヒヤリハット報告バナーがあり、そこから、誰でも、いつでも報告できるように配慮している。ヒヤリハット案件は単独ではなく、複数の方から匿名で出してもらおうようにしている。

(3) 次回は令和6年12月1日（日）午前10時から12時、ファミリー参観日と同日に行うことを伝え、閉会とした。